

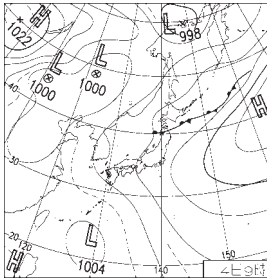
日々の天気図

— No. 103

2010年8月

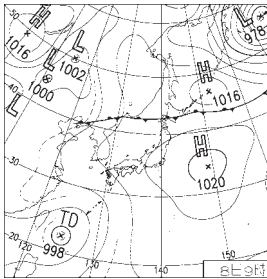
- ・全国の77地点で8月の月平均気温の高い記録を更新。
- ・12日、台風第4号が秋田市付近に上陸。
- ・29日～30日、台風第6号、第7号、第8号が相次いで発生。第7号は沖縄本島を通過し、最大風速39.7 m/sを記録。

(気象庁予報部予報課)



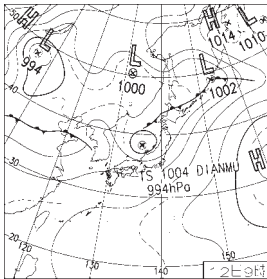
4日(水)日本海側で猛暑日

太平洋高気圧が張り出し、北海道を除く広い範囲で真夏日。内陸部と山越えの南風が入った九州～北陸の日本海側を中心に猛暑日も。兵庫県豊岡で38.0℃。

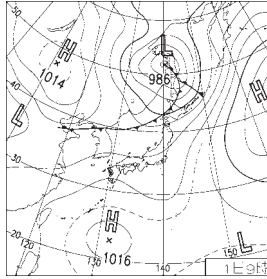


8日(日)台風第4号発生

東北以南では概ね晴れて真夏日や猛暑日で残暑続く。先島諸島や九州～関東は湿った空気の流入等で所々強い雨。北海道は前線近傍で激しい雨。積丹町東岡43mm/1hの記録更新。

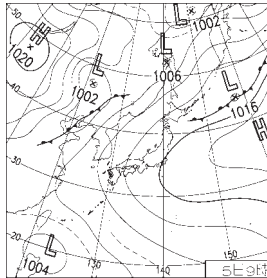


12日(木)台風 秋田市付近に上陸
台風第4号は日本海を東北東に進み、夕方秋田県に上陸(1951年以降初)三陸沖に抜ける。暖かく湿った空気及び前線の影響により全国各地で大雨。京都市中京区で76.5mm/1h。



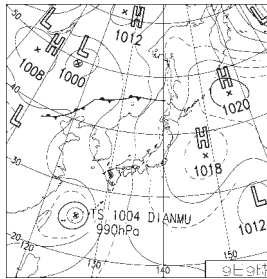
1日(日)蒸し暑い朝で幕明け

北海道では前線の影響で雨や曇りで、一部で強い雨も。その他は概ね晴れて日中は各地で猛暑日。全国的に朝の最低気温は高く、青森市では平年より6.7℃高い26.6℃。



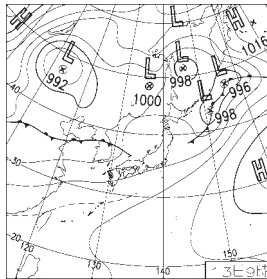
5日(木)日本海側で記録的な猛暑

太平洋高気圧の勢力が強まり日本付近を広く覆う。西日本～東北の日本海側では南風によるフェーンもあり猛暑。福井県坂井市三国で平年より9.7℃高い観測史上最高の38.6℃。



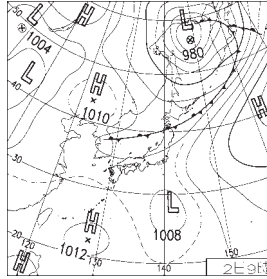
9日(月)局地的に大雨

台風第4号は宮古島の東海上を通過し東シナ海南部を北上。全国的に南から暖かく湿った空気が流入したため、所々で非常に激しい雨。愛知県原市加治町で70mm/1h。



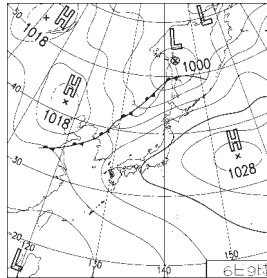
13日(金)不安定な天気

低気圧や前線に向かって流れ込む湿った空気の影響で全国的に曇りや雨。北海道音威子府で52.5mm/1hの非常に激しい雨。台風第4号は日本の東海上に進み温帯低気圧に。



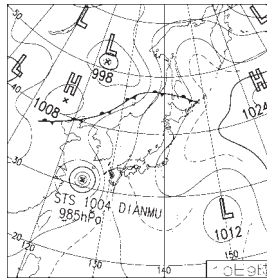
2日(月)西日本～東海で猛暑日

朝から晴れた西日本～東海は各地で猛暑日。前線が停滞した東北や、暖かく湿った空気が流入し不安定となった本州太平洋側で雨や雷雨。長野県上田市菅平で58mm/1hの雨。



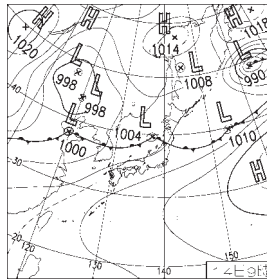
6日(金)猛暑と局地的大雨

日本付近は引き続き太平洋高気圧に覆われ晴れて暑さ続く。各地で局地的大雨。全国179か所で猛暑日を、842か所で真夏日を観測。岐阜県下呂市宮地で72.5mm/1h。



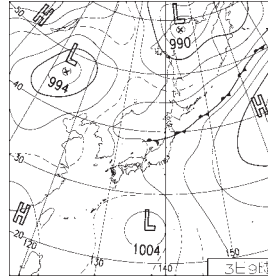
10日(火)暑さと局地的大雨続く

全国的に残暑厳しいが、沖縄～九州は台風第4号の影響で、近畿～関東は湿った空気の流入で所々雷雨。新潟県阿賀町室谷70.5mm/1h、沖縄県竹富町大原85.5mm/1hの猛烈な雨。



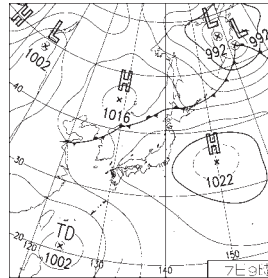
14日(土)北海道で激しい雷雨

沖縄～九州と北海道の一部で晴れたが、暖かく湿った気流が流入した北海道の北部や東北などで激しい雷雨。北海道初山別で69mm/1hを記録。観測史上1位の値を更新。



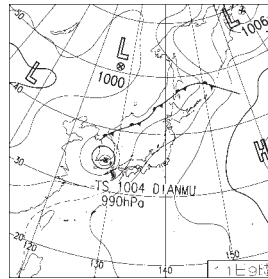
3日(火)西日本で猛暑日

西日本は高気圧に覆われて晴れ、日本海側を中心に猛暑日。東北に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流入し、山沿いを中心に雨。長崎県南島原市口之津で58mm/1h。



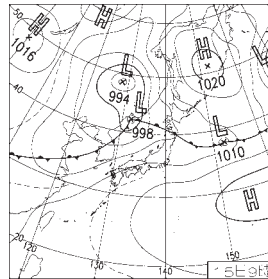
7日(土)残暑と雷雨の立秋

本州付近は太平洋高気圧に覆われ晴れて気温が上がったが、午後は九州～四国、北陸～東北の山沿いで雷雨。北海道は前線の影響で激しい雨。札幌では朝の最低気温が26.2℃。



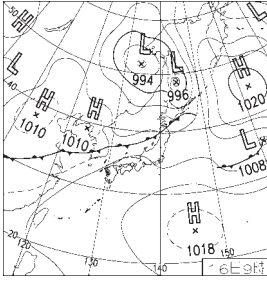
11日(水)台風、日本海を北東進

台風第4号と前線の影響で大雨。北海道登別市札内町で66mm/1h。山形県大蔵村肘折で57.5mm/1h。台風に吹き込む南寄りの風で北陸を中心に猛暑日。石川県小松で37.7℃。

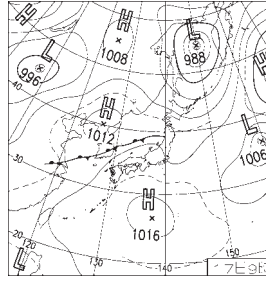


15日(日)関東以西で猛暑日

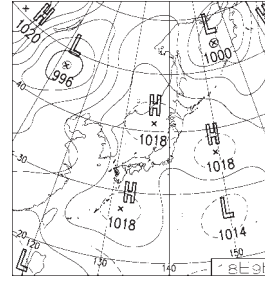
太平洋高気圧の勢力が強まり前線が北上。曇りや雨の東北や北海道を除き、関東以西で晴れて気温が上がり猛暑日。愛媛県西条市周布で37.6℃。観測史上1位の値を更新。



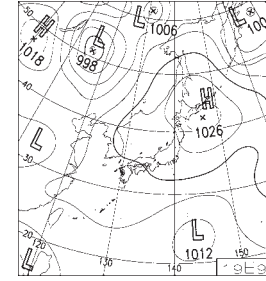
16日(月)関東甲信中心に猛暑日
北日本や北陸は雨や曇り。午後晴れ間も。その他は概ね晴れたが西日本で午後におか雨。関東で体温を超える暑さ。群馬県館林等38.2℃。大津市南小松で53mm/1hの雨。



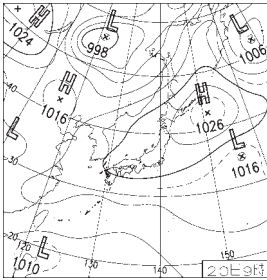
17日(火)東日本は連日の猛暑
日本海の前線の影響で東北北部は雨。西～東日本は朝から晴れたが、九州や関東などで午後から雨や雷雨。最高気温は三重県桑名・東京都練馬で38.2℃。練馬は2日連続で38℃超。



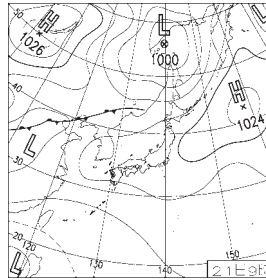
18日(水)九州～関東で猛暑日
太平洋高気圧に覆われ全国的に晴れ。九州～関東で猛暑日。愛媛県西予市和で38.0℃。観測史上1位の値を更新。午後は各地で雨や雷雨。埼玉県所沢で67mm/1h。



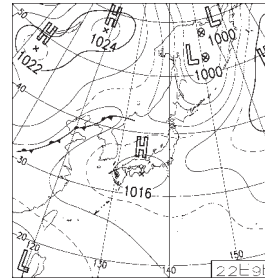
19日(木)東日本は猛暑一休み
太平洋高気圧に覆われて九州～東海で猛暑。関東～東北の太平洋側は北東から涼しい気流が入り、関東以北は猛暑日無し。各地の山沿いで雷雨。東京都八王子市八王子で62mm/1h。



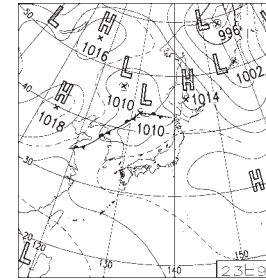
20日(金)西日本中心に猛暑続く
日本付近は太平洋高気圧に覆われ、よく晴れた西日本の各地で猛暑日。最高気温は大分県日田市三本松で38.2℃。北東の涼しい気流が入った東北太平洋側などでは平年を下回る。



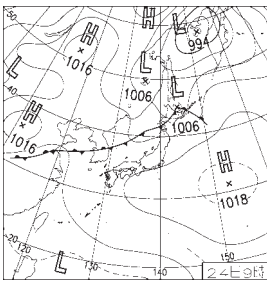
21日(土)高気圧の中心は西日本
北海道は前線の影響で弱い雨。南西諸島は暖かく湿った空気の流入でにわか雨。その他は晴れて、西日本を中心に猛暑。午後山沿いで短時間強雨。岐阜県下呂市宮地で59.5mm/1h。



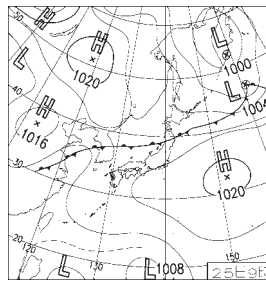
22日(日)西～東日本で猛暑続く
本州付近は高気圧に覆われ広く晴れて、西日本や関東で37℃を超える厳しい暑さ。午後には西日本山沿いで激しい雨や雷雨。北海道は朝まで雨。岡山県真庭市下菅部で62mm/1h。



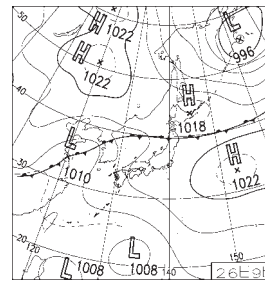
23日(月)処暑だが猛暑続く
高気圧に覆われ九州～東北で猛暑日。午後は山沿い中心に雷雨。北海道は低気圧の影響で非常に激しい雨。北海道日高町門別で57.5mm/1h。南シナ海で台風第5号が発生。



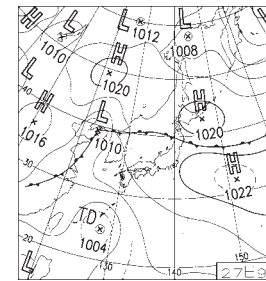
24日(火)北海道で大雨 東北猛暑
北海道は低気圧の通過により大雨。北海道平取町仁世字で59mm/1hなどが観測史上最高を更新。山越え気流が入った東北太平洋側で猛暑。福島県浪江で観測史上最高の37.9℃。



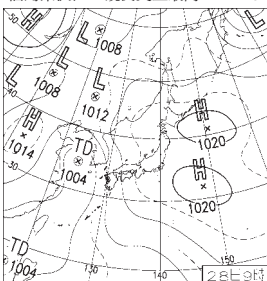
25日(水)関東以西猛暑続く
太平洋高気圧が西～東日本を広く覆い晴れて各地猛暑続く。茨城県大子37.3℃。東北地方は前線が発発で秋田県象潟64.5mm/1h。観測史上1位を更新。



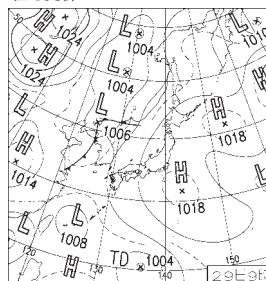
26日(木)富山県で局地的大雨
東北北部は前線の影響で曇りや雨。その他は概ね晴れ。午後、西日本～東北南部では山沿いを中心に局地的大雨。富山県八尾で51.5mm/1hの非常に激しい雨。



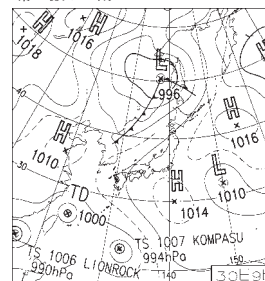
27日(金)沖縄付近で熱低発生
沖縄付近の雲がまとまり、熱帯低気圧に。沖縄～九州に発達した雨雲がかかる。鹿児島県天城で70.5mm/1h。東北北部は前線の影響で曇りや雨。西日本～東北南部では猛暑続く。



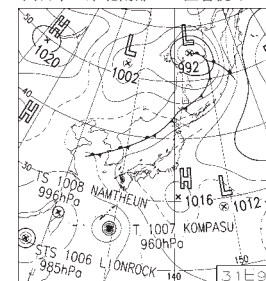
28日(土)関東で局地的大雨
西日本～関東や本州の日本海側で猛暑日。午後は関東の山沿いを中心に局地的大雨。茨城県常陸太田市徳田では62mm/1hの非常に激しい雨を観測し、観測史上1位を更新。



29日(日)猛暑の8月最終日曜日
山越え気流の影響で日本海側で猛暑日。福井市越廬で観測史上最高の37.2℃。湿った気流の影響で九州・四国で雨。南シナ海で台風第6号、沖縄の南東海上で台風第7号発生。



30日(月)台風第8号発生
台風周辺等の湿った空気の流入により先島諸島や九州～近畿で局地的大雨。兵庫県温泉75.5mm/1h。九州北部～東北南部は猛暑が続く。午後は関東の山沿いでも局地的雷雨。

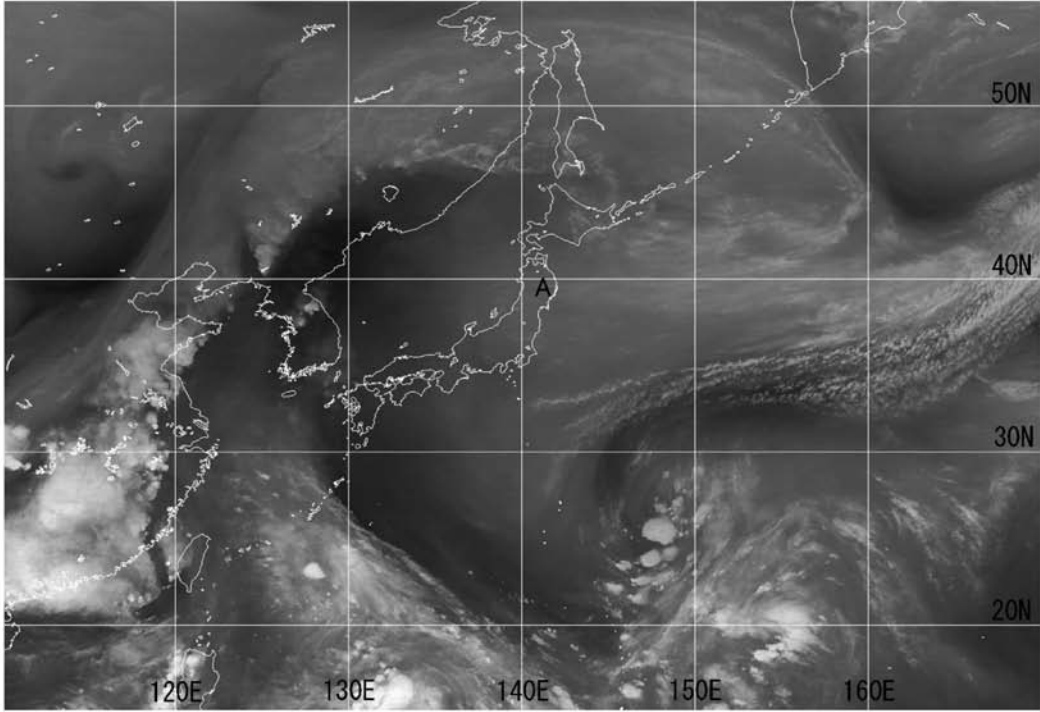


31日(火)台風第7号沖縄を通過
東北北部の各地で非常に激しい雨。青森県大鰐で70.5mm/1h。台風第7号は17時過ぎに沖縄本島北部を通過。沖縄県伊是名村仲田で最大風速39.7m/s、最大瞬間風速56.4m/s。



今月のひまわり画像—2010年8月

記録的に背の高い高気圧に覆われた日本の8月

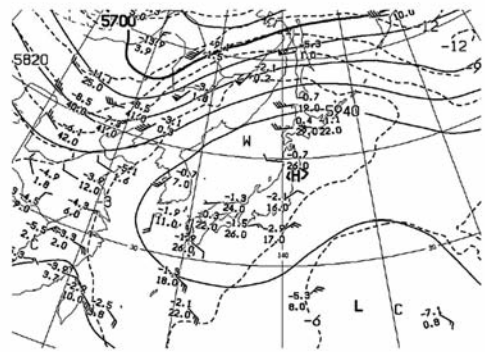


第1図 2010年8月5日21時（日本時間）の水蒸気画像（Aは第2図の高気圧中心に対応）。

2010年8月5日21時（日本時間）、日本では1957年の高層観測の統計開始以来なかった記録が観測された。ゾンデ観測で500hPaの高度が館野で6,007m、秋田で6,002mとなり、我が国で初めて6,000mを超えたのである。

第1図はこの時の水蒸気画像である。同画像の動画では東北地方（第1図のA付近）に高気圧性循環の中心があり、その西側の九州の南海上から日本海中部にかけて暗化域（暗化が時間経過とともに進む領域）が見られる。暗化域は高気圧付近の下降流による断熱昇温を示唆しており、高気圧の勢力範囲が水蒸気画像で確認できる。なお、気象庁全球モデル（図略）によると、日本海の300hPa付近でこの下降流が最も顕著となっていた。

第2図は同時刻の500hPa高層天気図（客観解析）である。東北地方に高気圧の中心があり、6,000mの等高線が出現している。この日の高層観測では、日本の多くの地点で指定気圧面の高度1位の記録が塗り



第2図 第1図と同時刻の500hPa高層天気図（東北地方の太い実線が6,000mの等高線）。

替えられたが、100～200hPaの高層天気図（図略）によると、これらの記録更新にはチベット高気圧も関与していたと考えられる。

（気象庁総務部航空気象管理官付 原 基）